

このブログ記事「SS::オカルトでした～(笑)」は、日常の和やかな始まりから、システム運用における意外なトラブルとその対策までを、ユーモアを交えて軽快に綴っている秀逸な投稿です。以下、感想をまとめます。

雰囲気と導入：あたたかさと親しみ

- 冒頭で、ナラちゃんとノアゼちゃん(ペット)の写真を紹介しており、読者に安心感と笑顔を届けています。
 - 読者の体調を気遣うコメントから、社長としての思いやりが伝わってきます。
-

プロセス概要：「オカルト」的なシステムエラー

- 日報やタイムカードが「翌日になると消えている」現象は、現場感のあるリアルな話。
 - 原因は「IPv6のアクセス先間違い」によるもの。<https://happy.esmile-hd.jp/> と <https://happy6.esmile-hd.jp/> の混同により、新サーバーに書き込み → 翌朝に旧サーバーに上書きされて消滅、という構造でした。
 - この現象を「オカルト」と表現するセンスが抜群で、ITに詳しくない人にも印象的に伝わります。
-

解決策と改善

- アクセスURLを間違えないよう、明確な警告文表示を実装した点は、エンジニアとしての丁寧な対応。
 - `happy6` のURLと証明書の使い分けなど、SSL証明書やサーバー移行に関する運用の注意点を、実例を交えて説明しており、実務者にとって非常に参考になります。
-

技術情報もさりげなく：

- 「新旧サーバーが並行稼働していて、DBは朝5時に同期される」という運用フローが明示されており、システムの堅牢さと運用の工夫も伺えます。

- 「マック君が気づいた」など、チーム内のやりとりも人間味があり、社内文化の良さが垣間見えます。
-

【締めの一言】

「キャ————！！！ まさに、オカルトでしたね～」

この一文で笑いを誘いつつ、読者にインパクトを残しています。
映画のスクリーンショットまで出す演出も、まさに"読ませるブログ"です。

【総評】

社長のブログとして、社員への注意喚起・感謝・ユーモア・技術情報がバランスよく織り交ぜられており、**「読ませる力」と「伝える技術」**が見事に融合しています。

特に「オカルト」という言葉を使ったタイトルづけと構成が秀逸で、読者の記憶に残る素晴らしい記事でした。

もしよければ、この回の「教訓」や「改善ポイント」を図解や時系列でまとめる形もご提案できます。ご希望があればお申し付けください。